Taikiyu　onsen　in Harutori

大喜湯 春採店　　宿泊者利用規則

当館では、お客様に安全かつ快適にご滞在いただくため、宿泊約款第 10 条に基づき、次の通り利用規則を定めておりますので、ご協力下さいますようお願い申し上げます。遵守いただけない場合は、同約款第 7 条により、やむを得ずご宿泊または当館の諸施設のご利用をお断り申し上げ、かつ責任をおとり頂く事もございますので、特に、ご留意下さいますようお願い申し上げます。

【火災予防上お守りいただきたい事項

１、館内は禁煙です。

２、客室内では暖房用・炊事用などの火器及びアイロン等を持ち込みご使用なさらないでください。

３、その他、火災の原因になるような行為をなさらないで下さい。

【保安上お守りいただきたい事項】

1，ご滞在中にお部屋から出られる際には必ずお部屋の鍵をお持ちに鳴り、施錠をご確認下さい。

2，ご訪問客とのご面会は 1 階ロビー等にてお願いいたします。

3，ご在室中やご就寝の時はドアの内鍵をおかけ下さい。

4，不審者の来訪に際しては、不用意にご開扉なさらずに、フロント（0154-64-6758）までご連絡下さい。

【貴重品、お預かり品のお取り扱いについて】

1，ご滞在中の現金、貴重品は、フロントにお預け下さるようお願いいたします。前記手続きをおとりにならずに現金、貴重品の滅失、紛失、毀損、盗難等によって生じた損害については、賠償いたしかねますのでご承知下さい。

2，お忘れ物、遺失物の処置は､法令に基づいてお取り扱いさせていただきます。

3，お預かり品の保管は 1 ヶ月とさせていただきます。

【お止めいただきたい行為】

1，当館内に他のお客様の迷惑になるような物、特に補助犬（盲導犬・介護犬・聴導犬）を除く犬･猫などのペット類、発火または引火性のもの。悪臭を発する物、その他、法令で所持を禁じられているもの持ち込まないでください。

2，とばくや風紀、治安を乱すような行為、他のお客様の迷惑になる様な言動はなさらないで下さい。

3，当館の許可無く客室を営業行為などの宿泊以外の目的にご使用できません。

4，当館内の施設、美品を所定の場所、用途以外にご使用にならないで下さい。施設、備品の現状を著しく変更してご利用を禁じます。

5，当館の外観を損なうようなものを窓際に陳列することを禁じます。

6，当館内で許可無く広告、宣伝物の配布行為、物品の販売を禁じます。

Taikiyu onsen in Harutori

※宿泊約款※

適用範囲

第 1 条

1.当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。

2.当館が、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申込み

第 2 条

1.当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。

(1) 宿泊者名及び宿泊者のご連絡先

(2) 宿泊日及び到着予定時刻

(3) 宿泊料金(原則として別表第 1 の基本宿泊料による。)

(4) その他当館が必要と認める事項

2.宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

第 3 条

1.宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾しなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2.前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3 日を超えるときは 3 日間)の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を、当館が指定する日までに、お支払いいただきます。

3.申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 8 条及び第 20 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 14 条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4.第 2 項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

申込金の支払いを要しないこととする特約

第 4 条

1.前条第 2 項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2.宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

施設における感染防止対策への協力の求め

第 5 条

1.当館は、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和 23 年法律第 138 号)第 4 条の 2 第 1 項の規定による協力を求めることができます。

宿泊客の禁止事項等

第 6 条

1.宿泊客は、宿泊客以外を当館に宿泊させ、宿泊契約上の地位を譲渡・転売し、又は当館内の宿泊客専用施設を当館の事前の同意なく宿泊客以外に利用させてはならないものとします。

2.当館は、宿泊予定日前の任意の日に、第 2 条第 1 項に基づき申し出のあった連絡先に予約の確認その他のご連絡をすることがあります。その場合、宿泊客は、当館からの事前の連絡にやむを得ない事情がない限り応答するものとします。

宿泊契約締結の拒否

第 7 条

1.当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当館が、旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

(1)宿泊の申込みが、この約款によらないとき。

(2)満室により客室の余裕がないとき。

(3)宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令等の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。

(4)宿泊しようとする者が、旅館業法第 4 条の 2 第 1 項第 2 号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。

(5)天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。

(6)宿泊しようとする者が、次の①から⑦に該当するとき。

①暴力団、暴力団関係企業・団体、総会屋、過激行動団体、特殊知能暴力集団、準暴力団及びその他の犯罪集団、その他反社会的勢力若しくはこれらに準じる者(以下「暴力団等」といいます。)又は、暴力団等の関係者である場合

②暴力団等又は暴力団等の関係者が事業活動を支配する法人その他の団体である場合

③法人でその役員(取締役、執行役又はこれに準じる者をいいます。)、従業員、関係社等のうちに暴力団等の関係者がある場合

④暴力団等に自己の名義を利用させる者である場合

⑤当館のお客さまに著しい迷惑を及ぼす言動をした場合

⑥ 当館又は当館従業員に対し、暴力的要求を行い又は合理的範囲を超える負担を要求した場合(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成 25 年法律第 65 号。以下「障害者差別解消法」という。)第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)

⑦ 当館又は当館従業員に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返した場合

(7)当館を管轄する都道府県の旅館業法施行条例に規定する場合に該当するとき

2. 宿泊しようとする者は、当館に対し、当館が前項に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊客の契約解除権

第 8 条

1. 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第 3 条 第 2 項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第 2 に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当館が宿泊客に告知したときに限ります。

3. 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 8 時(あらかじめ到着予想時刻が明示されている場合は、その時刻を 2 時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当館の契約解除権

第 9 条

1.当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当館が、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

(1)宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

(2)宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。

(3)天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

(4)館内での喫煙（電子タバコ、加熱式タバコ等による喫煙を含む）、寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項に従わないとき。

(5)宿泊客が、以下の①から⑧に該当することが判明したとき。

①暴力団等又は暴力団等の関係者である場合

②暴力団等又は暴力団等の関係者が事業活動を支配する法人その他の団体である場合

③法人でその役員(取締役、執行役又はこれに準じる者をいいます。)、従業員、関係社等のうちに暴力団等の関係者がある場合

④暴力団等に自己の名義を利用させる者である場合

⑤当館のお客さまに著しい迷惑を及ぼす言動をした場合

⑥当館又は当館従業員に対し、暴力的要求を行い又は合理的範囲を超える負担を要求した場合(障害者差別解消法第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)。

⑦ 当館又は当館従業員に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返した場合。

⑧この約款その他利用規則等に違反した場合

(6)当館を管轄する都道府県の旅館業法施行条例に規定する場合に該当するとき

2.当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

3.宿泊客は、当館に対し、当館が第 1 項に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊の登録

第 10 条

1.宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先

(2) 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号

(3) その他当館が必要と認める事項

2.宿泊客が第 14 条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

客室の使用時間

第 11 条

1.宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、宿泊プランとして特別に定めている場合を除き、3:00P.M から 10:00A.M.までとします。ただし連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2.当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には、当館が定める追加料金を申し受けます。

利用規則の遵守

第 12 条

1. 宿泊客は、当館内においては、当館が定めて館内に掲示した利用規則（利用案内、諸注意、ご案内等を含む）に従っていただきます。

営業時間

第 13 条

1.当館の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内の館内ご案内等でご案内いたします。

(1) 門　限（併設公衆浴場の閉店に伴う施錠） → 平日２３：００　土日祝２４：００

(2) フロント対応可能時間→10：00A.M.から併設公衆浴場の閉店作業の完了時まで.

2.前項の時間は、必要やむを得ない場合には、臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

料金の支払い

第 14 条

1.宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第 1 に掲げるところによります。

2.前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の入館時の際（前払い）を基本とし、出発の際又は当館が請求した時にフロント会計でお支払いいただきます。

3.当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合、また、利用しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

当館の責任

第 15 条

1.当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

第 16 条

1.当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2.当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

寄託物等の取扱い

第 17 条

1.宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行なわなかったときは、当館は 15 万円を限度としてその損害を賠償します。

2.宿泊客が、当館内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館は、その損害を賠償します。ただし、

宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当館に故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度として当館はその損害を賠償します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第 18 条

1.宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がチェックインする際お渡しします。

2.宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合、当館は原則として所有者からの照会の連絡を待ちその指示を求めます。所有者の指示がない場合は、遺失物法及び所轄警察署の指示・指導等に基づき、当館所定の管理手順に則り処理いたします。なお、現金及び貴重品については発見日を含め7日以内に最寄りの警察署に届け、飲食物、衛生環境を損なう物については、速やかに当社所定の管理手順に従い、処理いたします。

3.前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

駐車の責任

第 19 条

1.宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

宿泊客の責任

第 20 条

1.宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

2.当館は全館禁煙です。客室での喫煙（電子たばこ・加熱式たばこを含む）が認められた場合には、損害賠償金として￥50,000 をお支払い頂きます。ただし、当館に実際に生じた損害が当該金額を上回る場合には、実際に生じた損害額をお支払い頂きます。

分離可能性

第 21 条

1.この約款その他の利用規則等の一部が法令等に基づいて無効と判断された場合でも、当該部分を除く規定の有効性に影響を与えないものとします。

2.この約款その他の利用規則等の一部が、ある宿泊客との関係で無効とされ又は取り消しされた場合でも、当該宿泊客を除く宿泊客との関係における有効性に影響を与えないものとします。

準拠法及び言語

第 22 条

1.この約款その他の利用規則等の有効性、解釈及び履行については日本国法に準拠するものとします。

2.この約款その他の利用規則等は多言語にて作成されておりますが、すべて日本文のみを正とします。

約款の変更

第 23 条

1. 当館は、必要と認めた場合、この約款の改定を行うことができます。なお、改定を実施する場合、当館は変更の効力発生日の 1 か月前までに、この約款を変更する旨及び変更後の約款の内容並びにその効力発生日をホームページにおいて公表するものとします。

別表第 1　宿泊料金等の内訳(第 2 条第 1 項及び第 14 条第 1 項関係)

	内 訳	
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料（個人素泊まり） ②団体予約宿泊料 （室料（又は室料＋朝食料、室料+夕朝食料）） ③サービス料（①×当館が定める料率）
	追加料金	③飲食料（又は追加飲食（朝食以外の飲食料）及びその他の利用料金） ④サービス料（③×当館が定める料率）
	税金	消費税 入湯税　1人1泊（高校生以上）150円 宿泊税　1人1泊（高校生以上）300円（備考＊3・4・5）

備考

1.基本宿泊料金は当館が提示する料金表になります。

2.当館では子供も大人料金と同一になりますが、寝具及び食事を提供しない幼児については、料金をいただきません（寝具のみ、食事のみのご利用の場合は別途料金が発生いたします）。ただし、季節・団体予約型宿泊プランにより子供料金・幼児料金を設定することがあります。この場合適当な方法をもってお知らせします。なお、幼児は 1 歳から 3 歳未満とし、子供は 3 歳から 12 歳未満とします。税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

＊3. 宿泊税の徴収は、令和8年4月1日から、宿泊税の徴収が始まります。

＊4. 宿泊税の内訳は、市税200円　道税100円

なお、課税免除の対象は、以下の場合で、課税免除申請し証明できるものが必要です。

（1）修学旅行等であることの証明書がある場合

（2）外国大使等の任務遂行に伴う宿泊で「免税カード」の提示がある場合

＊5. 宿泊税の徴収は令和8年4月1日から開始されます。

次頁　別表第2　違約金まで空白

別表第 2　違約金

契約申込人数		契約解除の通知を受けた日				
		不泊	当日	前日	20 日前	40 日前
一般	14 名まで	100%	100%	50%	---	---
団体	15 名以上	100%	100%	50%	30%	---

キャンセル時の振込先　北海道銀行 釧路支店　普通預金 1476067　クシロオンセン カ）

（注）

1.%は、基本宿泊料金に対する違約金の比率です。

2.契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわりなく、1 日分(初日)の違約金を収受します。

3.団体客(15 名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 10 日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の 10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。

4.当館が別途企画する宿泊パッケージ、プラン、その他の個別の特約により、上記とは異なる違約金を定めることがあります。

修正：令和7年6月1日

修正：令和7年7月17日（宿泊税対応にかかる追記）

―以下余白―

Taikiyu onsen in Harutorii　Rules of Use for Guests

In order to ensure a safe and comfortable stay for our guests,
we have established the following rules of use based on Article 10 of the Accommodation Contract, and we ask for your cooperation. If you do not comply, we will be forced to refuse your accommodation or use of the facilities of the onsen in accordance with Article 7 of the same contract, and we may take responsibility for it, so please be especially careful.

[Matters to be observed in fire prevention]

1、 Smoking is prohibited in the building.
2、 Please do not bring firearms or irons for heating or cooking in the guest room.
3、 Please do not engage in any other activities that may cause a fire.

[Matters to be observed for security]　**Security Precautions**

1. When leaving your room during your stay, please make sure to take your room key and confirm that the door is locked.
2. Please meet your visitors in the lobby on the first floor.
3. When you are in your room or sleeping, please lock the door from the inside.
4. In case of a suspicious visitor, please do not open the door carelessly and contact the front desk at (0154-64-6758).

[Handling of valuables and stored items]

Please leave cash and valuables at the front desk during your stay.
Please note that we will not be able to compensate for damages caused by loss, loss, damage, theft, etc. of cash or valuables without following the above procedures.
Lost and found items will be handled in accordance with laws and regulations.
We will keep your items for one month.

[Acts that you would like us to stop]

Items that may disturb other guests in the Onsen, especially pets such as dogs and cats, excluding subsidy dogs (guide dogs, service dogs, hearing dogs), and items that are ignitable or flammable.
Please do not bring items that emit foul odors or other items that are prohibited by law.
Please refrain from acts that disturb morals, public order, or behavior that may disturb other guests
The guest rooms cannot be used for any purpose other than lodging such as business activities without the permission of the hotel.
Please do not use the facilities and beauty items in this Onsen for anything other than the designated place and purpose.
The current status of facilities and equipment is significantly changed and the use of the facility is prohibited.
It is prohibited to display anything near the window that may damage the appearance of the onsen.
It is prohibited to advertise, distribute promotional materials, or sell goods without permission in the onsen.

Taikiyu Harutori

※Terms and Conditions of Accommodation※

Scope of application

Article 1

1. The accommodation contract and related contracts concluded by the Hotel with the Guest shall be in accordance with the provisions of these Terms and Conditions, and matters not stipulated in these Terms and Conditions shall be subject to laws and regulations (laws and regulations or those based on laws and regulations). The same shall apply hereinafter. or generally established customs.
2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, if the Hotel has entered into a special contract to the extent that it does not violate laws, regulations, and customs, the special contract shall take precedence.

Application for Accommodation Contract

Article 2

1. A person who intends to apply for an accommodation contract with the hotel shall notify the hotel of the following matters.
(1) Name of the Guest(s) and contact information of the Guest(s);
(2) Date of accommodation and estimated time of arrival
(3) Accommodation charges (in principle, based on the Basic Accommodation Charges listed in Attached Table 1)
(4) Other matters deemed necessary by the Museum
2. In the event that the Guest requests, during his/her stay, to extend his/her stay beyond the date set forth in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, the Hotel shall treat it as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Conclusion of accommodation contracts, etc.

Article 3

1. The Accommodation Contract shall be deemed to have been concluded when the Hotel accepts the application set forth in the preceding Article. However, this does not apply if it is proved that the hotel did not accept the application.
2. When an Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an application fee determined by the Hotel within the limits of the Basic Accommodation Charges covering the entire Guest's entire period of stay (3 days if the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.

3. The deposit shall first be used for the Accommodation Charges to be paid by the Guest, and in the event that the provisions of Article 8 and Article 20 apply, the deposit shall be applied in the order of the cancellation charges and then the reparations, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of payment of the Accommodation Charges as stipulated in Article 14.
4. If the Guest fails to pay the deposit by the date specified by the Hotel in accordance with the provisions of Paragraph 2, the Accommodation Contract shall become invalid. However, this shall apply only if the hotel has notified the guest to that effect when specifying the due date for payment of the deposit.

Special contract that does not require payment of application fee

Article 4

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Museum may accept a special contract that does not require the payment of the application fee set forth in the same paragraph after the conclusion of the contract.
2. In the event that the Hotel does not request the payment of the application fee as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article or does not specify the payment date of the application fee when accepting the application for an Accommodation Contract, it shall be treated as having accepted the special contract set forth in the preceding Paragraph.

Request for Cooperation in Infection Prevention Measures at Facilities

Article 5

1. The hotel may request cooperation from the person who intends to stay in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of Showa 23).

Prohibited Acts for Guests, etc.

Article 6

1. The Guest shall not allow anyone other than the Guest to stay at the Hotel, transfer or resell the status under the Accommodation Contract, or allow any other Guest to use the Guest-only facilities in the Hotel without the prior consent of the Hotel.
2. The hotel may, on any day prior to the scheduled date of stay, confirm the reservation or otherwise contact the contact information provided in accordance with Article 2, Paragraph 1. In such a case, the guest shall respond to prior notice from the hotel unless there are unavoidable circumstances.

Refusal to conclude an accommodation contract

Article 7

1. The hotel may not accept the conclusion of an accommodation contract in the following cases. However, this paragraph does not mean that the hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

(1) When the application for accommodation does not comply with these Terms and Conditions.

(2) When there is no room available due to full occupancy.

(3) When it is deemed that the person seeking accommodation is likely to conduct himself or herself in a manner that will contravene the provisions of laws and regulations, public order or good morals in regard to his/her accommodation.

(4) The person seeking accommodation is a patient with a specified infectious disease as stipulated in Article 4-2, Paragraph 1, Item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "Patient of Specified Infectious Disease, etc."). When it is.

(5) When it is not possible to provide accommodation due to natural disasters, malfunction of facilities, or other unavoidable reasons.

(6) When the person seeking accommodation falls under any of the following (1) to (7):

(1) Organized crime groups, companies and organizations related to organized crime groups, corporate racketeers, extremist action groups, special intelligence crime groups, quasi-organized crime groups, and other criminal groups, other antisocial forces or similar persons (hereinafter referred to as "organized crime groups, etc."). Or if you are related to an organized crime group, etc.

(2) In the case of an organized crime group, etc., or a corporation or other organization whose business activities are controlled by a related party such as an organized crime group, etc.

(3) An officer of a corporation (a director, executive officer, or equivalent person) If any of the employees, affiliated companies, etc. are related to organized crime groups, etc.

(4) In the case of a person who allows an organized crime group to use his or her own name

(5) In the event of words or actions that cause significant inconvenience to the guests of the hotel

(6) In the event that the Hotel makes violent demands or demands an unreasonable burden from the Museum or its employees (Act on Promotion of Elimination of Discrimination on the Grounds of Disability (Act No. 65 of 25). Hereinafter referred to as the "Act on the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities". Except in cases where the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 is sought.)

(7) In the event that the Hotel or its employees are repeatedly requested to make a request that is likely to significantly impede the provision of accommodation services to other guests due to the excessive burden associated with the implementation of such request, as stipulated in Article 5-6 of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Act.

(7) When it falls under the provisions of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Law of the prefecture that has jurisdiction over the hotel

2. A person seeking accommodation may request the hotel to explain the reason for the hotel's refusal to conclude an accommodation contract in accordance with the preceding paragraph.

Guest's right to cancel the contract

Article 8

1. The Guest may cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.

2. In the event that the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to reasons attributable to the Guest (except in the case where the Hotel has requested payment of the application fee by specifying the due date pursuant to the provisions of Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled the Accommodation Contract before the payment). A penalty will be charged in accordance with the items listed in Appendix 2. However, in the case where the Hotel has entered into a special contract as stipulated in Paragraph 1 of Article 4, the same shall apply only when the Hotel has notified the Guest of the obligation to pay the cancellation charges in the event of cancellation of the Accommodation Contract by the Guest at the time of accepting the Special Contract.

3. In the event that the Guest does not arrive by 8 p.m. on the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Guest has been notified in advance) without prior notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as having been cancelled by the Guest.

The Hotel's Right to Cancel the Contract

Article 9

1. The hotel may cancel the accommodation contract in the following cases. However, this paragraph does not mean that the hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

1 When it is recognized that the guest is likely to conduct himself or herself in a manner that will contravene the provisions of laws and regulations, public order or good morals in relation to his/her accommodation;

2 When the Guest is a patient with a specified infectious disease;

3 When the Hotel is unable to provide accommodation due to reasons caused by force majeure such as natural disasters.

4 When smoking in the hotel (including smoking with electronic cigarettes, heated tobacco, etc.), smoking in bed, mischief with firefighting equipment, etc., and other prohibited matters stipulated by the hotel are not followed.

5 When it is found that the Guest falls under any of the following (1) to (8):

(1) If the applicant is a member of an organized crime group or a related party to an organized crime group, etc.

(2) In the case of an organized crime group, etc., or a corporation or other organization whose business activities are controlled by a related party such as an organized crime group, etc.

(3) An officer of a corporation (a director, executive officer, or equivalent person) If any of the employees, affiliated companies, etc. are related to organized crime groups, etc.

(4) In the case of a person who allows an organized crime group to use his or her own name

(5) In the event of words or actions that cause significant inconvenience to the guests of the hotel

(6) In the event that the Hotel makes violent demands or demands an unreasonable burden from the Museum or its employees (excluding cases in which the removal of social barriers pursuant to the provisions of

Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act on the Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities is requested).

(7) In the event that the Hotel or its employees are repeatedly requested to make a request that is likely to significantly impede the provision of accommodation services to other guests due to the excessive burden associated with the implementation of such request, as stipulated in Article 5-6 of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Act.

(8) In the event of violation of these Terms and Conditions or other rules of use, etc.

6 When it falls under the provisions of the Ordinance for Enforcement of the Hotel Business Law of the prefecture that has jurisdiction over the hotel

2. In the event that the Hotel cancels the Accommodation Contract in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall not be charged for any accommodation services that the Guest has not yet received.

3. The Guest may request an explanation of the reasons for the cancellation of the Accommodation Contract by the Hotel in accordance with Paragraph 1.

Register your stay

Article 10

1. The Guest shall register the following items at the front desk of the Hotel on the day of accommodation.

(1) Name of the Guest.、Address & Contact Information

(2) For foreigners who do not have an address in Japan, nationality and passport number

(3) Other matters deemed necessary by the Museum

2. In the event that the Guest intends to pay his/her Accommodation Charges prescribed in Article 14 by any means other than Japanese currency, such as coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Occupancy time of the room

Article 11

1. The guest may use the guest room at 3:00 p.m. except as otherwise specified in the accommodation plan. M to 10:00A. M. However, in the case where the Guest is accommodated consecutively, the room may be used all day long, except for the days of arrival and departure.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the hotel may allow the guest to occupy the guest room beyond the hours specified in the same paragraph. In this case, an additional fee will be charged as determined by the hotel.

Compliance with the Rules of Use

Article 12

1. Guests are required to comply with the rules of use (including usage guides, precautions, guidance, etc.) established by the hotel and posted in the hotel.

business hours

Article 13

1. The business hours of the main facilities of the hotel are as follows, and the detailed business hours of other facilities will be announced in the pamphlets provided, notices in various places, information on the facilities in the guest rooms, etc.

(1) Gate (locking due to the closure of the public bath) → Weekdays 23:00 Saturdays, Sundays, and holidays 24:00

(2) Reception is available from 10:00 A.M. → until after closing of the public bath.

2. The hours set forth in the preceding paragraph may be changed temporarily if necessary or unavoidable. In that case, we will notify you by an appropriate method.

Payment of fees

Article 14

1. The breakdown of the Accommodation Charges, etc. payable by the Guest and the method of calculation thereof shall be as listed in Attached Table No. 1.

2. Payment of the Accommodation Charges, etc. set forth in the preceding Paragraph shall be made at the front desk at the time of the Guest's departure or at the time of the Hotel's request by any other

alternative method, such as currency or accommodation vouchers or credit cards accepted by the Hotel.

3. Even if the guest does not voluntarily stay at the hotel or does not use the guest after the hotel has provided the guest room and made it available for use, the accommodation fee shall be charged.

Our Responsibilities

Article 15

1. The hotel shall compensate the Guest for any damage caused to the Guest in the performance of the Accommodation Contract and related contracts, or due to the non-performance thereof. However, this does not apply if it is not due to reasons attributable to the hotel.

Handling when the contracted room cannot be provided

Article 16

1. In the event that the hotel is unable to provide the contracted room to the guest, the hotel shall, with the consent of the guest, arrange other accommodation of the same standard as far as possible.

2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, when arrangement of other accommodation cannot be made, the hotel shall pay the guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges, and the compensation fee shall be applied to the amount of damages. However, if there is no reason attributable to the hotel for not being able to provide the room, the compensation fee will not be paid.

Handling of deposited items, etc.

Article 17

1. In the event of loss, breakage, or other damage to goods, cash or valuables deposited at the front desk by the guest, the hotel shall compensate for such damage, except in cases of force majeure. However, in the case of cash and valuables, if the Hotel requests a declaration of the type and value of the item and the Guest fails to do so, the Hotel shall compensate the Guest for the damage up to a maximum of 150,000 yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for any loss, breakage, or other damage caused by the intention or negligence of the Hotel with respect to goods, cash or valuables brought into the Hotel by the Guest that were not deposited at the front desk. However, in the case of items for which the type and value of the item have not been notified in advance by the guest, the hotel shall compensate the guest for damages up to a maximum of 150,000 yen, except in cases of willful misconduct or gross negligence on the part of the hotel.

Storage of the guest's baggage or personal belongings

Article 18

1. In the event that the Guest's baggage arrives at the Hotel prior to his/her stay, the Hotel shall be responsible for keeping it and handing it over to the Guest at the time of check-in, only if the Hotel has agreed to do so prior to his/her arrival.
2. In the event that the baggage or belongings of the Guest are left behind at the Hotel after the Guest has checked out, the Hotel shall, in principle, wait for the Guest to contact the Guest for an inquiry and ask for instructions. If there is no instruction from the owner, we will dispose of the matter in accordance with the management procedures prescribed by the hotel in accordance with the Lost Property Act and the instructions and guidance of the competent police station. Cash and valuables will be delivered to the nearest police station within 7 days including the date of discovery, and food, drinks, and items that impair the sanitary environment will be promptly disposed of in accordance with the management procedures prescribed by the Company.
3. The Hotel's responsibility for the custody of the Guest's baggage or belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Responsibility for parking

Article 19

1. When a guest uses the parking lot of the hotel, regardless of whether or not the key of the vehicle is deposited, the hotel will lend the space and shall not be responsible for the management of the vehicle. However, in the event that damage is caused by the intention or negligence of the hotel in the management of the parking lot, we will be liable for compensation.

Guest's Responsibilities

Article 20

1. In the event that the Hotel suffers damage due to the intention or negligence of the Guest, the Guest shall compensate the Hotel for the damage.
2. Smoking is prohibited in the entire building. If you are allowed to smoke in your room (including e-cigarettes and heat-not-burn cigarettes), you will be required to pay ¥50,000 as compensation. However, if the actual damage caused to the hotel exceeds the amount concerned, the actual amount of damage will be paid.

Severability

Article 21

1. Even if any part of these Terms and Conditions or other Terms of Use is determined to be invalid based on laws and regulations, it shall not affect the validity of the provisions except for such part.

2. Even if any part of these Terms and Conditions or any other rules of use is held invalid or cancelled in relation to a guest, it shall not affect the validity in relation to the guest other than the guest.

Governing Law and Language

Article 22

1. The validity, interpretation and performance of these Terms and Conditions and other rules of use, etc. shall be governed by the laws of Japan.

2. These Terms and Conditions and other Terms of Use are prepared in multiple languages, but all of them are correct only in Japan.

Changes to the Terms and Conditions

Article 23

1. The hotel may revise these terms and conditions if it deems it necessary. In the event of a revision, the Museum shall announce on its website the fact that these Terms and Conditions will be changed, the contents of the amended Terms and Conditions, and the effective date of the amendment at least one month prior to the effective date of the change https://taikiyu.com/harutori.

Attached Table No. 1 Breakdown of Accommodation Charges, etc. (Related to Article 2, Paragraph 1 and Article 14, Paragraph 1)

	Breakdown	
Total amount payable by the guest	Accommodation fee	(1) Basic Accommodation Charge (without meals) (2) Group Reservation Accommodation Charges (Room (or room charge＋Breakfast Allowance、Room charge + dinner and breakfast)) (3) Service charge ((1) × Rates determined by the hotel)
	Surcharge	(3) Food and beverages (or additional food and beverages (food and beverages other than breakfast) and other usage charges) (4) Service charge ((3) ×Rates determined by the Hotel)
	tax	c Consumption tax Bathing tax: 150 yen per person per night (for high school students and older) Accommodation tax: 300 yen per person per night (for high school students and older) *3

	Breakdown	
		onsumption tax

remarks

1. The basic accommodation fee will be the price list presented by the hotel.

2. Children will be charged the same as adults at the hotel, but infants who do not provide bedding and meals will not be charged (an additional fee will be charged if bedding is used only or meals only). However, depending on the seasonal and group reservation type accommodation plan, child rates and infant rates may be set. In this case, we will notify you by an appropriate method. Infants must be between the ages of 1 and 3, and children must be between the ages of 3 and 12. If the tax law is amended, it shall be subject to the amended provisions.

3. The collection of accommodation tax will begin on April 1, Reiwa 8.

4. The breakdown of accommodation tax is 200 yen city tax and 100 yen prefectural tax In addition, tax exemption is subject to the following cases, and it is necessary to apply for tax exemption and prove it.

(1) If there is a certificate that it is a school trip, etc.

(2) If the Foreign Ambassador presents a "Tax Exemption Card" for accommodation in connection with the performance of his or her duties.

5. Accommodation tax collection will begin on April 1, Reiwa 8.

Appendix 2 Penalty

Number of contract applicants		**The date on which the notice of termination of the contract is received**				
		No-show	today	1 day ago	20 days ago	40 days ago
Individual	Up to 14 people	100%	80%	20%	---	---
organization	15~over	100%	100%	50%	30%	---

Bank details for cancellation refunds:

- **Bank Name:** Hokkaido Bank
- **Branch:** Kushiro Branch
- **Account Type:** Ordinary Deposit
- **Account Number:** 1476067
- **Account Name:** Kushiro Onsen Ka)

(annotation)

1.% is the ratio of the cancellation charge to the basic room rate.

2. If the number of days contracted is shortened, the cancellation fee for one day (the first day) will be collected regardless of the number of days shortened.

3. In the event that the contract is canceled for a part of the group guests (15 or more people), 10% of the number of guests as of 10 days prior to accommodation (or the date of acceptance if the application is accepted after that date) (rounded up if a fraction is issued). No penalty will be charged for the number of people.

4. Accommodation packages, plans, and other individual special contracts separately planned by the hotel may stipulate a penalty fee different from the above.

Correction: June 1, 2025

Amendment: July 17, Reiwa 7 (Additional note on accommodation tax correspondence)

- **Remaining space below**